

医療工学系の学会に参加して

情報工学府情報システム専攻M1 辻 裕介



研究の概要

台湾の台南市で開催された「WACBE world congress on bio-engineering 2011」に参加し発表した研究内容について紹介します。

近年、動脈硬化や血栓症の原因を探索するため血液流動特性の研究が注目を集めています。血流の異常による毛細血管形状の歪みと血管系疾患の発症に関連のあることが想定されています。一方、体内の毛細血管のうち、特に指先や歯肉の微小血管は機器の発達によりその形状が容易に観察・記録できるようになっています。そこで、本研究では粒子法を用いた

血流解析手法を考案し、それを元に微小血管など微細領域での解析プログラムを作成し、解析の妥当性を検証しています。更に作成した解析プログラムを元に様々な病態生理機構を考察し解析に取り入れていくことで、病気が血流の変化にどのように影響し、血液の流動の変化が血管壁面の変形にどのような影響を与えるのか検証しています。

英語でのポスターセッション

事前に研究の概要質問対策などは準備していたので、自分の研究に対しての質問は完全には満足できないものでしたが、対応できました。しかしながら、他大学の学生のポスターに対して、この研究がどのような簡単に質問しかできず、研究に対して議論できないことが多々ありました。また、今回のポスター発表では、学生から質問を受けることが多

かったのですが、どの学生も英語の会話能力が高く驚かされることが多く、良い刺激を受けることができました。現状の自分の英語力と言語の重要性を再認識できたいい機会になりました。是非英語の会話能力を上げて、学生の間で海外での発表でリベンジしたいと思います。



ポスターセッションの様子

台湾での交流

実際に台湾人が親日的である印象を受ける場面が多々ありました。たとえば、市場で食事をしている時に、日本語で話しかけてきて日本の良さについて熱弁されたり、日本の製品だけを取り扱っている店がとても繁

盛していたり、名産物を進んで紹介して振る舞ってくれました。複雑な経緯ではありますが、台湾人が日本人に対して好意を抱いていることを体感し、少しではあるものの日本の海外に対する影響力を感じることができました。

短期間ではありましたが、海外での生活は多くの刺激を感じることができた有意義なものでした。必ず学生生活だけにとどまらず、今後の人生においても大きな糧になると思います。今後このような機会があれば積極的に参加したいと思っています。是非これを読まれている方々も積極的に国際学会に参加することを強くお勧めします。

最後になりましたが奨学金を援助して頂いた明専会に厚くお礼申し上げます。



高雄の龍虎塔にて